



月に一度、お茶をしながら「ものづくり」

【9月・10月の予定】

9/1(日) くさり編みで作るキラキラネックレス
10/6(日) 七宝焼きで作るハロウィンのブローチ

【申込み受付・先着順】

9月分 8/10(土)9:00~
10月分 9/10(火)9:00~

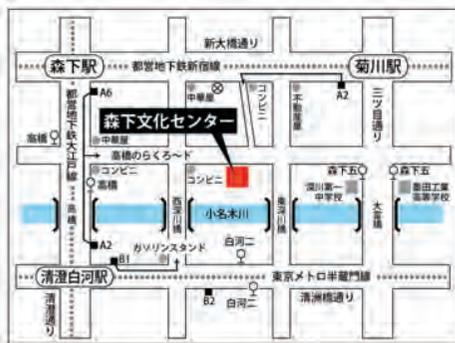
時間、費用などくわしくは、カルチャーナビKOTO、ホームページなどでご確認ください。



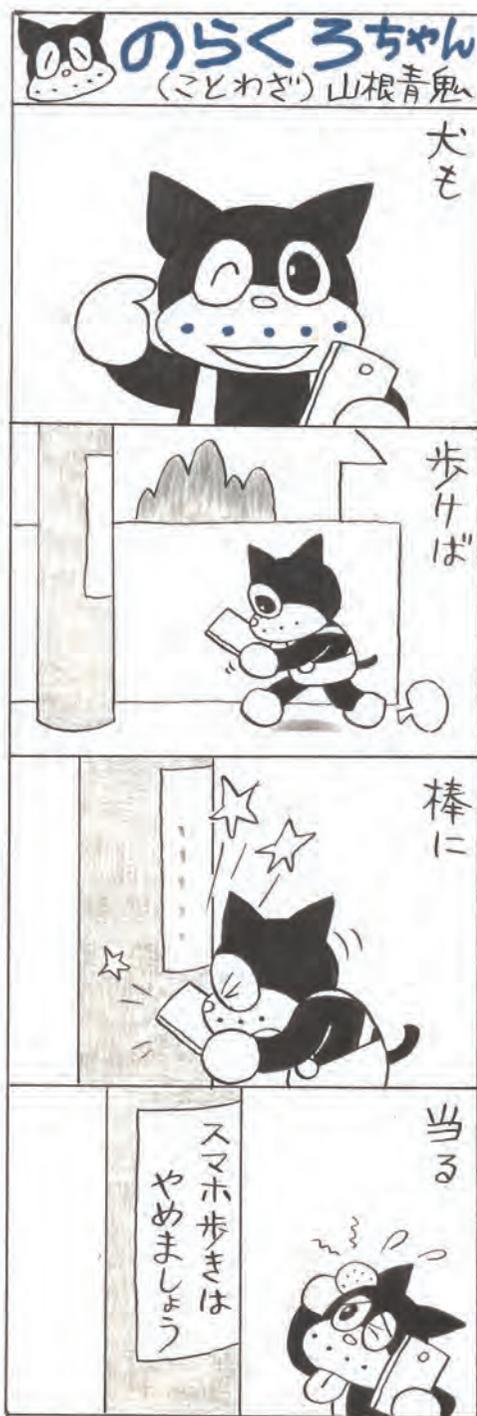
©田河水泡/講談社

2019年8月8日発行

公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
江東区森下文化センター
田河水泡・のらくろ館



〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17
電話 03-5600-8666
FAX 03-5600-8677
HP <https://www.kcf.or.jp/morishita>
【開館時間】午前9時~午後10時
【休館日】第1・3月曜日(祝日の場合は開館)
年末年始



森下文化センター・イベント情報紙

第47号

-のらくろに会える場所-

のらくろ便り

'19 8月号



八月八日(木)~九月六日(金)
夏の特別展「スポーツ漫画の魅力が大集合!!」
『名選手を生んだ傑作マンガ!』

八月二十八日(水)
西山健治プロデュース
中高年の為の音楽入門第2限
「ケン・バルデイス」と「4トロンボーン」の世界

九月二十五日(水)
素浄瑠璃の会
帰ってきた「浄瑠璃解体新書」

江東区文化プログラム

9月までのイベント情報

すべての催し、イベントは、チラシ、カルチャーナビKOTO、ホームページでご確認ください。

8/8～ 木 夏の特別展 **スポーツマンガの魅力が大集合！！**
9/6 金 **～名選手を生んだ傑作マンガ！～**

8/28 水 西山健治プロデュース 中高年の為の音楽入門＜第2限＞
「ケン・バルディス」と「4トロンボーン」の世界

9/8 日 水彩サロン2019秋学期 Deepに迫る多彩なまち、江東
松尾芭蕉と俳句のまち、江東
講師：小山正見（江東区教育委員会、元八名川小学校校長）

9/11～ 水 「昭和でSHOW」ギャラリーコピス（白河）企画展
9/17 火 「ちょっと昔」になった懐かしの昭和をテーマにした作品展
出展者 ウノ・カマキリ、岩國宏志、高橋俊英、とむくる〜ぞ〜、まゑの美佐、mosco
ムラタユキトシ、眞壁照夫

森下文化センターホームページ →

イベントなどの情報を随時アップしています！



10/31
(木)
締切

第15回 のらくろマンガ賞



プロ、アマチュア、国内外不問。どなたでも応募できます。 ©田河水泡/講談社

- コマ漫画の部……テーマ「時代変化」
- ストーリー漫画の部……テーマは自由
- イラストの部……テーマ「スポーツ」

※スポーツの表現に、東京オ2020オリンピック・パラリンピックに関連する内容、ロゴマーク、「五輪」「オリンピック」「パラリンピック」「東京2020大会」の名称等、また東京2020オリンピック・パラリンピックを想起させる文言を使用することはできません。詳細はのらくろマンガ賞ホームページでご確認ください。

審査員

山根青鬼氏（漫画家・のらくろトリオ）
江波じょうじ氏（漫画家）
たちいりハルコ氏（漫画家）
ウノ・カマキリ氏（漫画家）

8/28
(水)

西山健治プロデュース
中高年の為の音楽入門＜第2限＞

「ケン・バルディス」と「4トロンボーン」の世界

19：00開演 全席自由 3,000円（当日券3,300円）

会場：多目的ホール

出演/ トリオ17:西山健治(トロンボーン)青木弘武(ピアノ)
ジャンボ小野(ベース)木村由紀夫(ドラム)
トロンボーン(駒野逸美+上杉優+河野広明BTb)
ゲスト歌手/ケン・バルディス(From名古屋)

9/25
(水)

素浄瑠璃の会 帰ってきた「浄瑠璃解体新書」
一谷嫩軍記(いちのたにふたばぐんき)
熊谷陣屋の段(くまがいじんやのだん)

「義太夫節？むずかしいな、わかりにくいな！」いえいえご心配なく。演奏の途中にわかりやすい解説を交え、楽しく浄瑠璃に浸れます。その為に「帰ってきた」のです。

18:30開演 全席自由 2,000円 <6歳以上> 会場：多目的ホール

出演/野澤錦糸(三味線) 豊竹靖太夫(太夫)
のざわきんし とよたけやすたゆう

夏の特別展

8/8(木)
～
9/6(金)

スポーツマンガの魅力が大集合！！
～名選手を生んだ傑作マンガ！～

9:00～21:00 展示ロビー（入場無料）

野球、テニス、サッカー柔道などの名作マンガを紹介。綿引勝美氏所蔵コレクションからの貴重な資料も展示します。お見逃しなく!!(8/19、9/2は休館日)



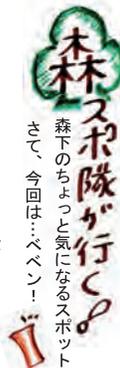
野澤錦糸(三味線)



豊竹靖太夫(太夫)



竹の湯



森下のちょっと気になるスポット調査隊、通称「森スポ隊」が森下界限の魅力をご紹介！
さて、今回は「ベーン！」
(「？！」)

江東区森下4の9の18
03-3631-5268
営業時間 午後3時30分～11時30分
定休日 土曜日

森下文化センターに何度も登壇いただいている、浄瑠璃、すなわち義太夫節の三味線師匠、野澤錦糸さん。今年も9月25日(水)に「素浄瑠璃の会 帰ってきた浄瑠璃解体新書」で演じてくださいます(ベーン!)なんと、錦糸師匠と森下文化センターのご縁は、師匠が森下界限を散策中に銭湯「竹の湯」さんで「風呂浴びて、ふらりと文化センターへお寄りになったことから! その森下4丁目銭湯「竹の湯」店主の菅原伸直さんに、お話をうかがってみました。

Q 竹の湯さんはいづ銭湯を開業なさったのですか?
A 昭和17年に江東区森下で創業しました。
私で三代目です。

Q 戦中戦後と大変だったのでは?
A 木場が近いから、燃料になる木材は豊富でした。
いまは、都市ガスです(笑)

Q 「町のお風呂屋さん」として、外国人のお客さんなども寄られますか?
A 外国人のお客様は、あまり来ません。

それはちょっと残念。「銭湯」めぐりでデビューな町を味わえるのに...。そこで気になる、銭湯のお約束「マナー」です。

Q 「銭湯」の「約束事「マナー」」について、お客さんはどうしていらっしゃるのでしょうか?
A マナーを知らない、また、あまりマナーがよくないお客様には、こちらから口頭で注意をするほか、常連さんも注意をしてくれたりします。

「銭湯」の常連さん! そう、竹の湯さんは、開店と同時に来る方ももちろん、夜10時は常連さんの出入りが賑やか。先にご家族が着替え一そいを袋で届け、ご本人はあとからゆつくりという方も。みなさん気持ちよさそうに「またね」「じゃあね」と常連さんらしくお帰りに。そんな雰囲気、まさに「下町」な「竹の湯」。フロントでは店主さんと奥様が交替で、お客さんを迎えてくれます。さて、奥様に「お客様は銭湯の店主さんか、どう呼ばれますか?」と素朴な質問をしたところ、奥様も「そういうええ、なんて呼ばれるかしら?」。常連さん、先代店主さんをご存知の方はお名前を呼んだり、「お兄さん」と声をかけたり、商売柄「社長」とも。奥様がフロントにいらつしやるときは「わたしもいろいろですね。おねえさんとか、奥さんとか」さすがに、下町でも現代「おかみさん」は無さそうです。店主さんからは、「毎日、日替わり薬湯をやっていますよ。有線放送で音楽も流しています」とのこと。手足をのぼして薬湯につかれば、懐メロ、ジャズ、ポップス、クラシックなどお風呂のなかで音楽も聴ける! 蒸し暑い夜のお仕事帰り、そして森下文化センターのイベントのお帰りに、銭湯で汗を流すのもよいのでは。



菅原さんご夫妻